宮崎県デジタル化推進計画　概要

～みやざきDXプラン～

計画期間：令和７～１０年度

本計画は、少子高齢化や人口減少を背景に、人手不足や地域経済の活性化等の地域課題を解決する手段として、本県におけるデジタル化施策の方向性を示すものです。

基本目標

県民誰もが輝き安全・安心で豊かさを実感できるデジタル社会の実現

現状と課題

- 人口減少社会の到来と生産年齢人口の減少
- 行政事務の効率化とサービスの質の向上
- マイナンバー制度の導入状況と今後の活用
- 人口減少下における労働生産性の伸び悩み
- 小規模事業者におけるデジタル化の遅れ
- デジタルの利用が少ない高齢者層等への対応
- デジタルを活用できる人材の不足

施策の方向性

Ⅰ 行政（県）

限りある資源を有効活用し、
住民に寄り添ったサービスを提供する

（１）行政事務の効率化の推進

- デジタルツールを活用した業務効率化の推進
- データの活用とオープンデータ化の促進
- テレワーク環境の整備・拡充

（２）行政サービスの質の向上

- 行政手続のオンライン化と利用促進
- マイナンバー制度の円滑な運用と利活用促進
- 県民への情報発信の強化

（３）市町村のデジタル化の推進

- 自治体DXの支援
- データの活用とオープンデータ化の促進

Ⅱ 産　業

デジタル技術で生産性の向上や業務の効率化を進め、
持続可能な産業と新たな価値の創出を図る

（１）産業界全体の振興

- デジタル化に向けた啓発
- デジタル実装の支援
- 好事例の創出・展開

（２）産業分野ごとの取組

- 農林水産分野
  ：スマート農林水産業へのシフト
- 商工・観光分野
  ：デジタル技術を活用した誘客等の取組の推進
- 交通・物流分野
  ：デジタル技術を活用した経済性と地域交通の両立
  システム活用による安定輸送の実現
- 建設分野
  ：デジタル技術を活用した持続的なインフラの
  整備・維持

Ⅲ 地域と暮らし

県民誰もがどこにいても安全・安心に暮らすことができる
地域社会を目指す

（１）暮らしの向上と教育・文化の振興

- 医療分野　：オンライン診療等を活用した持続可能な医療提供体制の確保
- 介護分野　：介護テクノロジーの活用による職員負担の軽減とサービスの質の向上
- 福祉分野　：健康づくりを支える環境の構築や福祉施設のデジタル化の支援
- 防災　　：情報連携、処理能力の向上、県民への情報伝達の強化
- 教育・文化：ICTを活用した教育環境の整備
  文化的デジタルコンテンツの充実

（２）情報通信基盤の整備促進と安全安心の確保

- インターネット利用可能エリアの拡充と強固な通信環境の　維持・整備
- サイバーセキュリティ対策

Ⅳ 人材育成・確保

デジタルでみやざきの未来を創造する人材が育ち、豊かさを誰もが実感出来る社会を目指す

（１）デジタル化を担う人材の育成・確保

- 行政分野におけるデジタル人材の育成・確保
- 地域産業におけるデジタル人材の育成・確保
- 学校等における情報教育の充実

（２）デジタルリテラシーの向上

- 高齢者等のデジタルデバイド対策
- インターネット利用に関する県民の人権意識の高揚

達成指標（令和10年度目標値）

自治体ＤＸ指数　偏差値 **55**
（令和6年度版：44.9）

一人当たりの労働生産性　**744** 万円
（令和３年度：684万円）

デジタル化によって暮らしや生活の利便性が向上したと感じる人の割合　％
（令和６年度から新たに調査開始。調査結果を受けて目標値を検討）

推進体制

宮崎県デジタル化推進本部
（本県デジタル化推進全体の司令塔）

宮崎県デジタル社会推進協議会
（産学官金連携）

宮崎県市町村ＩＴ推進連絡協議会
（市町村との連携）